



発行 南区人権尊重啓発連絡会議 事務局 福岡市南区役所生涯学習推進課 (☎559-5172)

第51回福岡市人権尊重週間(12月4日~10日) 人権を尊重する市民の集い(南区)

令和4年12月8日(木) 南市民センター文化ホールにて開催 後日 録画配信 182 回視聴 276 人参加

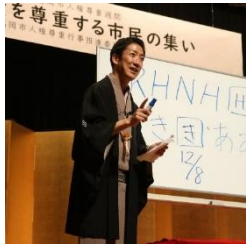
人にやさしいコミュニケーション

〜笑い・ユーモア・想像力〜

落語家 桂 福丸 さん



講師には、古典落語をはじめ英語や子ども向けなど多彩に対象を広げる落語家をお迎えしました。豊富な話題に笑いを織り交ぜ、人権尊重のコミュニケーションが提案されました。



クイズであなたの思い込みをチェック!会場から手が挙がります

生の対面とオンラインとの違い

コロナ禍以降使われているオンラインと生の対面との違いは、空気を感じ、息を合わせ、一体感が生まれるかどうか。オンラインでは相手や場の息遣いを感じに

くいものです。

また、伝わりやすい方法を順に並べると、対面↓オンライン↓メール↓SNS。この逆は、誤解が生まれやすい順になります。

脳は思い込みやすい

人にやさしいコミュニケーションには「慮る(おもんばかる)」思っではかる、他人のことを想像して言動することが大切です。「慮り」を拒むものは「思い込み」。クイズや逆ジャンケンで、脳が陥りやすい思い込みを体験しながら、話したこともないのに、誰か似た人に当てはめられたなどしていないか投げかけられました。

他人を慮ることは想像力を豊かにすること

思い込みを減らし、想像力を働かせて他人を慮るとき、笑いユーモアは、とても有効です。目じりを下げ口角を上げて顔を丸くすると、対人関係も良くなります。日本には落語、狂言の文化があり、しゃれで悪意を薄める話術があります。

笑い20秒 ヌウオーキング3分

落語の冒頭に、笑いの効果は、血糖値やコレステロールが下がり、脳内にあるがんを生み出す物質を抑えることが紹介されました。20秒笑うと約3分のウオーキングと同じ効果があり、「ハ、ハ、ハ」と声に出して形から入るだけでも、脳は反応するそうです。

落語は「青菜」が披露され、ダジャレ言葉や飲みつぶり、褒めつぶりなど愉快な語り口で、会場は笑いに包まれていました。



「植木屋さん、あんた口直しに青菜を食べるか」最後は落語で大笑い

福岡市人権尊重週間 南区入選作品

市の作品募集で、南区からは小学1年~中学3年生のポスター18点と標語22点が入選しました。

- ・その言葉 声に出すのは一瞬で 心の傷は一生だ
- ・刃物より するどい言葉があるんだよ
- ・その言葉 相手の立場で 考えて
- ・考えよう 相手の気持ち 言葉の重さ
- ・やさしさを 言葉にのせて いじめゼロ
- ・いじめなし みんなでつくる その笑顔
- ・思いやる 心と笑顔で いじめ0(ゼロ)
- ・いけないよ みてみぬふりも いじめだよ
- ・「あいづパ」 その一言が いじめだよ
- ・だいじょうぶ その一言で 居場所ができる その一言で 仲間ができる
- ・人と人 手と手をつなぐ 笑顔の輪

- ・きめないで ぼくにも好きな 服がある
- ・おたがいの 個性を尊重 つながる輪
- ・輝くよ みんなの個性 虹色に
- ・素敵だね 個性輝く 楽しい社会 みんなが微笑む 優しい世界
- ・その個性 唯一無二の存在を 認め合い 大切に
- ・目を見て話す その基本 仲良くなれる 秘訣です
- ・やめようよ 言えないあなたも 加害者です
- ・とく名を つかって悪口 ダメ絶対
- ・「やめようよ」 勇気を出して 言ってみて
- ・周りみて 悲しい顔を 見逃すな
- ・救いの手 だれかじゃない 自分から

アンケートの感想より

- 😊 堅苦しくない雰囲気の中で楽しく人権について考えることができました(40代)
- 😊 想像力を豊かにすることは思い込みを減らす、とても勉強になりました(50代)
- 😊 悪口にユーモアを隠す、先人の知恵を知りました。深刻に受け止めず、言う方も言われた方も気持ちが明るくなることは、現代にも必要かと思いました(60代)
- 😊 笑い、ユーモアはつらい時こそ有効、の言葉が心に残っています(80代)



南区人権を考えるつどい

令和4年10月6日(木) 南市民センター 205 人参加
後日 録画配信 243 回視聴

好感・共感・親近感が人権力を育む

『全国水平社100周年を迎えさらなる同和問題の解決をめざして』

明石 一朗 さん (関西外国語大学教授・人権教育思想研究所長)

2年ぶり対面での講演は、子どもに関わる心動かされる実話や課題解決が紹介され、ほろりとしたり納得したり。笑いあり、手品あり、もちろん多くの学びあり、あつという間の1時間半でした。同和問題は、積極的な取り組みによって必ず解決できると明るい展望が示されました。



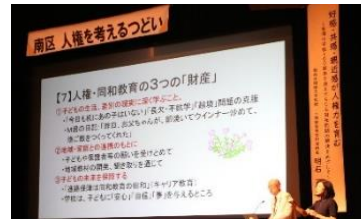
子どもにしみついた教育は財産になる。同和問題の解決は必ずできる、と語る明石先生

幸せが成り立つ3項目

わかりやすく3つの要素で人権問題を整理してみましょう。

人権とは、幸せの追求です。では、幸せとは何でしょう。無病息災、商売繁盛、家内安全、つまり健康、豊かき、安心安全が得ら

れるとき、幸せを感じることが出来るのです。



人権・同和教育の3つの財産

- ①子どもの生活、差別の現実からの深い学び
- ②地域・家庭との連携
- ③子どもの未来を保障

不登校の小学生が毎日登校した3要素

子どもには「いじめたらあかん」など観念的な指導ではなく、大人の育みによって、元気に学校に来るようになります。

- ① わかる授業・学力向上【知育】
- ② 仲のいい友達ができ居場所がある【学級集団の仲間【徳育】】
- ③ ぐつぐつ・しっかり・すっきり・寝る・食べる・出す、が整う健康な生活習慣【体育】

家庭と地域の教育力3事項

家庭では、会食、会話、役割分担
家庭はハウスではなくホームです。食事をしながら15分以上の会話、そして家庭内では家族それぞれが役割分担をしましょう。

地域では、挨拶、感動、笑顔

相手より先に伝える挨拶、感動と共に、笑顔を与え合えれば、地域での育みが進みます。

偏見や差別の背景と解決策

- 偏見や差別は、思い込み、先入観、不正確な噂情報から生じます。
- 人権尊重を確かなものにするのは、好感・共感・親近感、すなわち「出会いの触れ合いを豊かに」
- ↓ 偏見、狭い世界、思い込み に対して真に負けない
- ↓ 自分に引き寄せる
- ↓ 元氣出たよ、勇気が沸いたよ、自分のことにする
- ↓ 正しく学ぶ
- ↓ わかることは、かわること



赤と白のハンカチが・・・手品もまじえ、人権研修が明るいイメージに

アンケートの感想より

A 差別は人によって作られた問題だから必ず無くせよという展望がとても響いた (多数)

A オンラインでなく直接聞くことにより心に響くものがありました。具体的なお話が多くて親しみやすかった

A 生活の中で私自身も小さな差別をしていたことにハッとしました。周囲で見かけたとき、勇気を出して声をかけてみようと思います

A 中学生のとき友達ができ「私、部落出身なんよ。仲良くしても大丈夫？」と言われ、私はとても疑問に思って父に相談しました。「その子と仲良くするな」と言ったらどうする？と父に聞かれ、私はすごく怒りました。怒った私を見て父は「それでいい!!」と言ってくれたので、その後もずっと仲良しです。私の子どもにも丁寧な差別や人権のことを伝えていきます

地域活動の紹介 柏原校区



柏原校区人権尊重推進協議会は、人権フェスタを毎年開催しています(男女協共催)。今年はROSEさんのLGBTQ講演会をはじめ、コンサート・クイズラリー・障がい者や高齢者施設による作品販売、のぼり旗や長年の活動紹介掲示など、多彩な内容で大盛況でした。



ROSEさん講演を聴く参加者(人権フェスタ)

また、人尊協事業以外の様々な機会も活用した人権学習、例えば校区6町内会の各定例会前に人権DVDを視聴したり、柏原カフェで人気の包丁研ぎの待ち時間にDVDを放映したり、身近な工夫をこらしています。住民が集まり、感想や近隣情報を語り合い、互いに寄りそい、笑顔が見られる、誰もが住みよい人権尊重のまちづくりを目指して、楽しく活動を続けています。



包丁が研ぎあがるまで、温かいコーヒーを飲みながら人権DVDを視聴しました(柏原カフェ)